

ブラジル通信第2回

～活動1日目からどうして?!泣～

第2回の今回は任地に移動後の初めての練習参加日に起こったこと、また私の任地のことについて書いていきます。

サンパウロでの1か月の研修を終えて3月2日に私の任地ロランジア (Rolândia) という町に移動しました。ロランジアはパラナ州の北部に位置し、サンパウロとは違って高い建物はたくさん並んでおらず、平地でのどかな、人口7万人ほどの町です。ブラジルの中では比較的小さな田舎町であるようですが、町のはずれには広大な農地が広がっており、中心部にはたくさんのお店があって、日中は平日でもたくさんの人で賑わっています。日系の方やヨーロッパ系の方もたくさんいて様々なルーツを持つ方が住んでいる町の様です。

そして3月4日の土曜日に初めて子供たちの練習に参加しました。どんな子供たちがいるのかワクワクしながらも、彼らは外国から来た私を受け入れてくれるだろうかと心配しながら練習場へ向かう私。またこの日は隣町出身のメジャーリーガーで、オークランドアスレックスでプレイしている選手も訪問しに来ると聞いていました。先日行われたWBCの南米予選でもブラジル代表にピッチャーとして選出されていたブラジル野球界では有名な方です。練習場に到着すると20人ほどの子供たちが既に集まっていました。子供達との初対面。自己紹介したり、子供たちの話を聞いたり、練習が始まるまでサッカーをしたりして遊んで「うん、彼らの反応は悪くないな!」と感じていると、そのメジャーリーガーの方が到着。すると彼が到着したとたん子供たちは私と遊ぶのをやめて一斉に彼のもとへ…。子供たちに置いてけぼりにされ少し泣きそうになりながらも、私も彼のもとへ。メジャーリーガーということもあってか体が大きく彼の横に並ぶと親子ほどの違いがありました。子供たちの練習開始後はそのメジャーリーガーの方とキャッチボールをしたり、会話をしたりして過ごしました。

そして準備運動が終わった子供たちに彼のピッチングを披露することに。彼のボールを捕るのはもちろん私。メジャーリーガーの投げる球を捕れるのかとびくびくしながら、ミットと面をつけてキャッチャーのポジションにつく私。ピッチングが始まると、子供たちは彼が投げる球にくぎ付け。びびりながら頑張って捕球している私には目もくれません。「メジャーリーガーの球を捕球している森も褒めてくれ!」、「どうして活動1日目からそんな大物が来るんだ〜!」と内心思いながらも、ピッチングの披露は終了(※ゆっくり投げてくださいとお願ひしたので、もちろん彼は本気では投げていません)。彼はその後、別の用事があるとのことで練習場を後に。

彼が帰った後、子供たちは日本から来た私に再び興味を取り戻してくれた様で、「何歳なのか?」、「プロ野球選手なのか?」と色々と質問。もちろんプロ野球選手ではないし、年齢を答えると思っていたより若いのかびっくりする子供たち。日本でも老けて見られて

いた私ですが、ブラジルでもそれは変わらない様です。そんなこんなで初めての練習は終了。

最後に私が指導するこの町の野球チームについて説明します。もともとロランジアは野球の盛んな町ではありましたが、1990年代後半に少年野球チームが消滅してしまったようです。しかし4, 5年前から幼少期に野球をしていた大人たちによって少年野球チームを復活させようというプロジェクトが始動。プロジェクトのメンバーには少年野球で世界チャンピオンになった方もいます。そしてこれから野球の活動をさらに盛り上げようということで、JICA 海外協力隊を要請し、縁あって私が赴任しました。またこのチームは、野球がもともと移住した日本人によって持ち込まれたスポーツということもあり、野球を通して規律や礼節、相手を尊重する心ということ学ぶことにも重点を置いています（もちろんそういうことは日本だけの価値観ではなくどの国に行っても、どのスポーツでも大切にされていると思います）。4, 5年前に復活したと言っても、チームのユニフォームはまだ無く、これから出来上がる予定です。子供たちの中にはノーバウンドでのキャッチボールができる子や、基本的な野球のルールをちゃんと理解している子は多くいません。日本で野球の指導をしていた訳でもない私が、その国の言葉もままならない異国の地で、2年間、どれほど彼らの成長に貢献できるかわかりませんが、楽しむ気持ちを忘れずに彼らとともに私も成長していきたいと思っています。

以上、今回は赴任後初めての練習に参加した時のこと、またロランジアという町のことについて書いてみました。これからはそれ以降の練習の様子や隣町のことなどについても書いていきたいと思っています。



←ボールの握り方について説明する
メジャーリーガーと
それを熱心に聞く子供たちと私



←ブラジルでは主流の量り売り
レストランの様子。



←ブラジル流BBQ、シュラスコ (Churrasco)。串刺しにした肉を炭火でじっくり焼きます。



←練習をする球場の様子。芝も手入れされています。



↑練習の様子。グラウンドに照明設備がないため、夜の練習は照明設備があるフットサルコートで行います。